

BCAO関西支部 第88回勉強会議事録

日時： 2014年4月23日（水）19：30～20：30

場所： 大阪中央公会堂 展示室

座長： 鷺山 書記： 野原

出席者： 11名（順不同、敬称略）

大館、日下、萩原、福島、伊藤（高）、鷺山、久保田、速水、伊藤（聖）、梅田、野原

議題： 事前配付の資料に基づき今年度の勉強会テーマ選定に関する意見聴取。昨年6月のアンケートを採った内容に基づき活動テーマに関して出席者の意見を確認。

1. 各月のテーマについて、提案内容の説明（添付資料 26年度勉強会企画案 140423.xls の説明）

2. 説明内容に関する意見確認

(1) セミナー・勉強会講師

①BCAO本部

- ・今年度は、本部派遣講師のご講演は2回と考えている。
- ・本部から講師を招くのであれば本部とのすり合わせを早くしてほしい。
- ・本部に対して勉強会で実施してほしい話題について確認しても良い。
- ・「支部から日程も含めテーマ等を言ってほしい」という本部側の要望もある。
- ・昼間は一般的な普及セミナー等を実施して、夜、支部会/勉強会を実施する提案も可能。
今年も、事業継続と両輪の企業防災の講演を継続する話を聞いている。その内容で聞きたい内容を選定して、関西で講演してもらうのはどうか。
- ・教育・訓練を中心としたワークショップや企業防災と地域連携の話も実施してほしい。
- ・事業継続と両輪の企業防災で実施したビデオを Web のコンテンツとして掲載してほしい。
ビデオを見ることで理解が促進される。

②関西地域

- ・関西地域から講師を呼ぶのも良いと思う。

(2) 事業継続と両輪の企業防災

- ・地震、噴火以外の自然災害の大きなくくりの中で、リスクに対する対応方法を検討したい。

(3) 教育・訓練

- ・教育・訓練は取り上げてほしい。
- ・教育・訓練はコンテンツが重要、なのは同感。
- ・BC の訓練はいろいろな切り口が考えられる。訓練パターンを整理して、いろいろな訓練を提案できるようにしたい。
- ・企業によっては教育・訓練も実施継続できるかわからないと言っているので実施継続できる訓練等をやってほしい。

(4) 国際規格

- ・ISO22301 など ISO の事業継続マネジメント規格は、日本企業の間で関心が高いとは言ない。これには非常に厳しい事業環境の影響もあると思われる。ただ、内容の確認や活用方法の検討には意味があると思う。

(5) 火山噴火対策

- ・富士山の噴火については、静岡地域などで注目度が高い。
- ・いつ来るかわからないリスクとして火山噴火対策は取り上げたほうが良い。

(6) 帰宅困難者対策

- ・帰宅困難者の問題等も取り上げてほしい。
- ・地域連携に含まれるかもしれないが、帰宅困難に対する対策も関西は実施したほうが良い。

(7) 地域継続計画 (DCP)

- ・民間が主体になって取り組みを行っている岡山県の事例や鉄道駅ごとの取り組みを行政 (港区) が取り纏めている事例(BCAO アワード受賞)等、地域 BCP=DCP (定義は定かでは無いもの) もテーマとして検討したい。
- ・DCP、地域連携はやったほうが良いが、関西は独自性があるため関西なりの内容を検討したほうが良い。
- ・介護施設や福祉施設の BCP は、コンテンツの提供が可能である。

(8) ほかの勉強会との連携

- ・具耐的な方法の検討は必要なものの、他の地域勉強会 (静岡、名古屋等) との連携もあって良いのではないか。

(9) 家庭の防災対策

- ・家庭における家具の転倒落下防止対策の事例紹介等を行ってほしい。

(10) 現地視察

- ・日帰り研修は参加者が固定化されるため、やり方を検討したほうが良い。
- ・E-ディフェンスの見学はぜひ実現してほしい。実験が行われるとき行くようにしたい。

(11) その他

- ・年間計画の基本的内容には同意する。
- ・ワーキンググループからの活動報告は必要。

3. まとめ

今回頂いた意見を一度まとめて運営委員会で検討し、本部ともすり合わせて決定、実施したい。
また、ご意見等があればメーリングリスト等にて頂きたい。

以上